



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 67 号

2009.8.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」の名前をつけています。

も く じ

お知らせ

- － ことども観察会の中止について
- － 観察会の日程変更について
- － 高原の自然史の価格変更について
- － 第 8 回全国草原サミット・シンポジウムの開催について

活動報告

- － 霧ヶ谷湿原 夏のいきもの観察会

観察会案内

- － 可愛川の水生生物観察会
- － カワシンジュガイの観察会

お し ら せ

● ことども観察会の中止について

7月26日（日）に予定されていた「ことども観察会」は悪天候のため、残念ながら中止となりました。

● 観察会の日程変更について

10月11日（日）「キノコの観察会」の日程が、都合により、10月24日（土）開催へと変更になりましたのでご確認ください。場所・集合時間は未定となっております。決定次第、お知らせします。

● 高原の自然史の価格変更について

高原の自然史の会員価格が変更となりました。各号の価格・詳細については、高原の自然館へお問い合わせください。

● 第 8 回全国草原サミット・シンポジウムが開催されます

2009年9月26日（土）～28日（月）に北広島町芸北で開催されます。芸北地域の草原を見学するエクスカージョンや、兵庫県豊岡市長による基調講演、各地からの事例発表や分科会が行われるシンポジウム、そして草原を有する自治体によるサミットが予定されています。お問い合わせ・お申し込みなどは下記までお願いします。

北広島町役場 企画課 地域振興係
〒731-1595 広島県山県郡北広島町有田 1234
TEL 0826-72-0856 FAX 0826-72-5242
mailto:sogen@town.kitahiroshima.lg.jp

観 察 会 報 告

●霧ヶ谷の観察会 夏のいきもの観察会

開催日時:2009年7月5日(日)9:30

講師:岩見潤治・白川勝信・和田秀次

雨が心配だった観察会ですが、よく晴れた絶好の観察会日和となりました。植物から昆虫まで、幅広い分野の観察会だったためか、参加者は33名となり、多くの方が自然館前に集合しました。テレビ局の取材もあり、賑やかに出発しました。今回の講師は、植物担当の和田先生、昆虫担当の岩見先生、高原の自然館の白川学芸員です。霧ヶ谷湿原は、湿原の再生事業中であるため普段は入ってはいけない場所ですが、今回は広島県の許可を受け、特別に入ることができました。湿原に生息するグンバイトンボや草地のヒメシジミ、沢山咲いていた外来種のフランスギクなど、湿原特有の生物から外来の植物など様々なものが見られ、講師の先生方がわかりやすく説明してくださいました。モリアオガエルや昆虫などが多く見られたため、子供達も大喜びでとても楽しんでいました。列になった最後尾の方では、ヤマカガシがカエルを食べていた様子が観察できたようで、それを見られなかったのが残念です。午後からは水口谷湿原に行くことになり、こちらは木道を歩くので、長靴をはいて来られなかった方は安心していました。入り口付近で見た、ススキの葉を巻いた巣の中に、カバキコマチグモという、刺されると死に至る可能性のある毒グモがいることに驚きました。湿原の木道では、大きな黄色い花を咲かせていたハンカイソウ、有名な有毒植物のトリカブト、ピンク色が可愛いビッチュウフウロなどを観察し、霧ヶ谷湿原とはまた違った風景を楽しみながら、進んで行きました。人数が多かったため、先生方の説明を常に聞くことはできませんでしたが、近くの人と話をしながらワイワイと観察して行きました。工事予定地だからこそ入ることができた霧ヶ谷湿原。工事後は木道が作られ、いつでも見られるようになるかもしれませんが、今の状態は来年には見られないかもしれません。9月にも「霧ヶ谷の観察会 秋のいきもの観察会」がありますので、またこちらへの参加もお待ちしております。
[しんぼゆうすけ]



テレビ局クルーも含めて大勢での観察会の開始。



グンバイトンボを観察中。



バッタの仲間を見ながら、不完全変態についての説明を聞く。



双眼鏡でモリアオガエルのメスを観察中。



霧ヶ谷湿原の自然再生事業について説明する和田先生。

【みなさんの印象に残った物】

「モリアオガエルの卵が泡状になっていることを知ることができました」「トリカブトを間近で見られたこと」「湿原の面積が減少しているなかで、また元の湿原に戻そうとしている状態を見られたことです。」「かえるをつかまえた」「かなへび」「多くの植物を理解でき、自然を感じる事ができて、参加した事、全て印象に残りました。」「午前中の湿地帯を回って、今日しか回れない道を回れたこと」「自然再生の方法」「ハンノキが水の中に生えていたこと」「自然の風を感じられたこと」「1年半ぶりで霧ヶ谷を観察し、感激です。」「ヤマカガシがカエルを食べていた(2)」「ドクグモの存在」「ミズチドリ、

ゲンバイトンボ、ヒメシジミ」「すべての生き物です」「八幡湿原の大きさを、規模に驚きました!」「湿原の植生の豊かさ。設備が充分できている」「自然再生事業における土木工事は自然の死からで壊れる物ものを作るというお話」「霧ヶ谷の様子がずいぶん変わっててびっくり」「虫のいとなみもたいへんだ」「自然の湿原を観察することができて、とても勉強になりました」「ハンカイソウがきれいでした」「再生地がこんなに早く変わっていくのに驚きです」「自然再生事業の意味がわかった」「湿原が回復されていく過程がみられてたこと」「参加者の中に若い方が多くいられたことが良かった」「湿原の再生状況について理解できた」

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「オタマジャクシやヤゴなどを久しぶりに見ることができて楽しかったです」「今日、生まれて初めて湿地に入り、多くの自然の動植物を見ることができ感動しました。」「専門家の方といっしょにまわられて非常に勉強になりました」「次回に参加したいと思います」「今日は、湿地帯の色々な生物、植物の説明を聞いたり、触れることができたのは本当に良かったです。ありがとうございました。」「自然再生の事業地をはじめて見て、とても勉強になりました。」「植物と昆虫の達人の方に色々きけて良かったです。」「再生の必要性と管理の努力」「日本にも死にいたる毒蜘蛛もいるのに驚きました」「ゆっくり歩いて昆虫の話が聞けてよかった」「湿地再生が成功するように願っています。」「再生地と自然のところと両方見られてよかったです」「芸北の天空に満ちた空気の中を風が通り抜ける、湿地には水が走り抜ける、多くの生き物が息をしている、それに私も」「楽しく動植物をみる事ができてよかったです。また参加できたらと思います。」「生物のことも色々知ることができてとてもよかったです。」「再生中の湿地の中を歩けたのがよかったです」「良かった、興味を持てる内容だった」「久しぶりに参加しました。大勢の参加があり、盛會が今後、益に発展してほしい」「再生事業の1年2年～とたって行き湿地がよみがえる事を願っています」「それぞれの季節ごとの湿原を見てみたい」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山（川）を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳
作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 可愛川の水生生物観察会

開催日時：2009年8月8日（土）13:30
集合場所：千代田中央公民館
講師：内藤順一
準備：基本セット、水中メガネ、箱メガネ、網
定員数：30名
参加費：一般 = 300円
賛助会員 = 100円
正会員・中学生以下 = 無料

千代田地区の可愛川にて、水生生物の観察会を行います。観察会の中で、国の天然記念物であるオオサンショウウオの調査も行いますので、間近に姿を見るチャンスです。川の中で活動できる服装でお越し下さい。箱めがねや網、水中めがねもあとと楽しめますよ。

● カワシンジュガイの観察会

開催日時：2009年8月9日（日）9:30
集合場所：芸北文化ホール
講師：内藤順一
準備：基本セット、水中メガネ、箱メガネ、網
定員数：30名
参加費：一般 = 300円
賛助会員 = 100円
正会員・中学生以下 = 無料

氷河期の生き残りといわれるカワシンジュガイの観察会です。内藤先生が調査・研究してこられた経緯や、カワシンジュガイの生活史などのお話を聞いた後、実際生息している川に入り、生息環境や様子を観察します。川に入ることでできる服装でお越し下さい。



空梅雨だと思われた7月前半、かと思えば、大雨警報がたびたび発令されるほどの雨続きの7月後半でした。すっきりと晴れた日を待ち望みながら、梅雨の中の湿原歩きを楽しみました。雨に濡れたノリウツギ、水滴をつけて揺れるチゴザサ、ノシメトンボは花が終わったハンカイソウの葉の上で羽を休めていました。そろそろ秋の植物も花を咲かせはじめています。（この）

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先（ご意見・ご感想もお待ちしております）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/>
staff@shizenkan.info